



平成25年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年1月11日

上場会社名 株式会社MORESCO 上場取引所 東  
 コード番号 5018 URL <http://www.moresco.co.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 赤田 民生  
 問合せ先責任者(役職名) 常務取締役執行役員管理本部長 (氏名) 竹内 隆 (TEL) 078-303-9010  
 四半期報告書提出予定日 平成25年1月11日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成25年2月期第3四半期の連結業績（平成24年3月1日～平成24年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第3四半期	15,180	9.6	750	△20.0	863	△14.7	511	△14.5
24年2月期第3四半期	13,851	11.5	938	△10.0	1,012	△14.2	598	△20.3

(注) 包括利益 25年2月期第3四半期 516百万円 (△6.6%) 24年2月期第3四半期 552百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期第3四半期	60.04	—
24年2月期第3四半期	70.25	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年2月期第3四半期	15,742	8,036	46.4
24年2月期	15,139	7,600	47.1

(参考) 自己資本 25年2月期第3四半期 7,310百万円 24年2月期 7,128百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年2月期	—	—	—	25.00	25.00
25年2月期	—	12.50	—		
25年2月期(予想)				12.50	25.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 平成25年2月期の連結業績予想（平成24年3月1日～平成25年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,300	8.8	1,050	△12.0	1,200	△7.9	670	△6.8	78.66

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 - 社 (社名) 、除外 - 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	25年2月期3Q	8,518,000株	24年2月期	8,518,000株
② 期末自己株式数	25年2月期3Q	502株	24年2月期	482株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	25年2月期3Q	8,517,502株	24年2月期3Q	8,517,600株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

業績予想は本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

平成25年1月25日に、当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(4) 追加情報 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
4. 補足情報 .....	9
(1) 製品およびサービスに関する情報 .....	9
(2) 海外売上高 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、震災による復興関連等の国内需要が底堅さを維持しておりますが、エコカー補助金制度の終了に伴う自動車販売台数の反動減や長期化する円高、さらには欧州の債務問題を背景とする世界経済の停滞や中国経済の減速等により、不透明感はさらに強まっております。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、第2四半期までは比較的好調に推移していた国内自動車生産台数が第3四半期に入り急速に伸び悩み、一転して厳しい経営環境となりました。一方で、自動車電装部品のベアリング軸受用グリース基油やハードディスク表面潤滑剤の好調が貢献し、通期で前年同期を上回る売上高を確保することができました。しかし、利益面では原材料価格の上昇の影響等を受けたことにより、前年同期を下回りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は15,180百万円（前年同期比9.6%増）となり、経常利益は863百万円（前年同期比14.7%減）、四半期純利益は511百万円（前年同期比14.5%減）となりました。

セグメントの業績の概況は、次のとおりであります。

#### ①日本

##### （特殊潤滑油）

国内自動車生産台数の伸び悩みにより、ダイカスト用油剤、切削油剤は売上高が減少しましたが、難燃性作動液の売上高は新製品の拡販等により増加しました。さらに、エチレンケミカル(株)の連結子会社化により、売上高は前年同期を大きく上回りました。また、利益面では原材料価格の上昇等の影響を受けましたが、後追いながら着実に価格改定が進み利益率は改善方向にあります。

##### （合成潤滑油）

自動車用電装部品のベアリング軸受用グリースの基油として世界的にシェアが高い高温用合成潤滑油は、中国を中心とする自動車生産の伸びに支えられ、堅調に推移しました。また、ハードディスク表面潤滑剤は、高性能新製品の採用が進み、過去最高の売上高を維持しております。

##### （素材）

流動パラフィンポリスチレン樹脂添加剤向け用途が堅調に推移し、前年同期の売上高を上回りました。一方、金属加工油の添加剤として使用される石油スルホネートは海外への輸出が円高の影響を受け減少しました。また、利益面では原材料価格の上昇等の影響を受けましたが、価格上昇分の製品価格への転嫁に取り組み、改善の方向に向かいつつあります。

##### （ホットメルト接着剤）

前年度、震災の影響で大きく売上高を伸ばした大人用紙おむつなどの衛生材向けは、前年同期を下回るものの、高水準を維持しております。また、新製品の自動車用反応型ホットメルト接着剤の需要が好調に推移しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は13,529百万円（前年同期比9.5%増）となりました。セグメント利益は、638百万円（前年同期比16.3%減）となりました。

#### ②中国

中国では、ダイカスト用油剤の売上高が伸び悩みましたが、拡販に努めた難燃性作動液や自動車内装用ホットメルト接着剤等の売上高は堅調に推移しました。

当セグメントの売上高は1,172百万円（前年同期比5.5%増）となり、原材料価格の上昇等により、セグメント利益は、91百万円（前年同期比21.7%減）となりました。

#### ③東南アジア

タイでは、洪水の影響が収まり、自動車関連産業の回復により、ダイカスト用油剤の売上高が回復基調にあります。また子会社を設立したインドネシアでは、特殊潤滑油の工場が4月より生産を開始し、売上高は順調に拡大しております。

当セグメントの売上高は986百万円（前年同期比2.6%増）となり、原材料価格の上昇と円高の影響、インドネシア子会社の経費増等により、セグメント利益は、11百万円（前年同期比78.3%減）となりました。

## ④北米

北米では、自動車生産の回復により、日系自動車関連顧客の需要が好調に推移するとともに、米系顧客でのダイカスト用油剤等の新規ユーザーの獲得等により売上高が増加しました。また高温環境下で使用する合成潤滑油の需要も着実に拡大しました。

当セグメントの売上高は130百万円（前年同期比11.4%増）となり、損益面では営業力増強のための人件費の増加等により、未だ赤字基調から脱するには至らず、セグメント損失は、14百万円（前年同期は13百万円の損失）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて602百万円増加し、15,742百万円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金が408百万円、たな卸資産が192百万円、有形固定資産が148百万円増加したことによります。

負債は、前連結会計年度末に比べて167百万円増加し、7,706百万円となりました。主な要因は、未払法人税等が減少した一方で短期借入金および賞与引当金の増加により、流動負債が468百万円増加したこと、長期借入金および退職給付引当金の減少等により固定負債が301百万円減少したことによります。

純資産は、利益剰余金および少数株主持分の増加等により、前連結会計年度末に比べて435百万円増加し、8,036百万円となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成24年4月12日に公表しました連結業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日（平成25年1月11日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

## (4) 追加情報

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更および過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）および「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,395,485	1,242,553
受取手形及び売掛金	4,516,311	4,924,514
商品及び製品	1,677,552	1,728,346
原材料及び貯蔵品	924,364	1,065,835
その他	325,853	443,695
貸倒引当金	△15,585	△21,599
流動資産合計	8,823,980	9,383,345
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,028,912	1,160,680
機械装置及び運搬具（純額）	815,440	883,068
土地	2,382,195	2,378,221
その他（純額）	454,238	406,938
有形固定資産合計	4,680,784	4,828,907
無形固定資産		
のれん	481,338	452,288
その他	64,689	118,147
無形固定資産合計	546,027	570,435
投資その他の資産	1,088,527	959,065
固定資産合計	6,315,338	6,358,407
資産合計	15,139,318	15,741,752

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,838,823	3,771,445
短期借入金	990,420	1,660,420
未払法人税等	244,099	107,838
賞与引当金	345,327	533,381
その他	712,402	525,674
流動負債合計	6,131,071	6,598,758
固定負債		
長期借入金	598,390	440,575
長期未払金	127,694	64,280
退職給付引当金	585,438	471,290
その他	96,309	131,005
固定負債合計	1,407,831	1,107,150
負債合計	7,538,902	7,705,908
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,525,928	1,525,928
資本剰余金	1,386,018	1,386,018
利益剰余金	4,363,956	4,555,980
自己株式	△310	△328
株主資本合計	7,275,593	7,467,599
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,844	2,459
為替換算調整勘定	△159,485	△160,204
その他の包括利益累計額合計	△147,642	△157,745
少数株主持分	472,466	725,989
純資産合計	7,600,417	8,035,843
負債純資産合計	15,139,318	15,741,752

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)
売上高	13,851,380	15,179,880
売上原価	9,732,305	10,899,059
売上総利益	4,119,075	4,280,822
販売費及び一般管理費	3,181,364	3,530,986
営業利益	937,711	749,836
営業外収益		
受取利息	3,043	5,962
受取配当金	8,956	8,930
持分法による投資利益	38,559	80,563
その他	52,327	49,537
営業外収益合計	102,884	144,992
営業外費用		
支払利息	14,010	18,642
為替差損	10,948	6,570
その他	4,126	6,689
営業外費用合計	29,084	31,902
経常利益	1,011,511	862,926
特別利益		
貸倒引当金戻入額	9,667	—
負ののれん発生益	1,239	—
持分変動利益	—	7,885
特別利益合計	10,905	7,885
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	11,606	—
投資有価証券評価損	—	1,296
特別損失合計	11,606	1,296
税金等調整前四半期純利益	1,010,811	869,515
法人税、住民税及び事業税	302,751	266,000
法人税等調整額	61,977	62,763
法人税等合計	364,728	328,764
少数株主損益調整前四半期純利益	646,083	540,751
少数株主利益	47,723	29,321
四半期純利益	598,360	511,430



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	646,083	540,751
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△19,012	△8,850
為替換算調整勘定	△69,223	△16,817
持分法適用会社に対する持分相当額	△5,740	764
その他の包括利益合計	△93,976	△24,904
四半期包括利益	552,107	515,848
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	521,162	500,005
少数株主に係る四半期包括利益	30,945	15,843

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年3月1日至平成23年11月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	中国	東南アジア	北米	計		
売上高							
外部顧客への売上高	11,884,377	1,044,790	806,843	115,369	13,851,380	—	13,851,380
セグメント間の内部 売上高又は振替高	472,927	66,010	153,284	1,204	693,424	△693,424	—
計	12,357,304	1,110,800	960,127	116,573	14,544,804	△693,424	13,851,380
セグメント利益 又は損失(△)	761,705	115,639	49,289	△12,891	913,742	23,969	937,711

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額23,969千円には、セグメント間取引消去21,789千円、棚卸資産の調整額2,180千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年3月1日至平成24年11月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	中国	東南アジア	北米	計		
売上高							
外部顧客への売上高	12,905,355	1,168,710	978,550	127,266	15,179,880	—	15,179,880
セグメント間の内部 売上高又は振替高	623,710	2,954	6,996	2,541	636,201	△636,201	—
計	13,529,065	1,171,664	985,546	129,807	15,816,081	△636,201	15,179,880
セグメント利益 又は損失(△)	637,710	90,508	10,702	△14,268	724,652	25,184	749,836

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額25,184千円には、セグメント間取引消去41,561千円、棚卸資産の調整額△16,600千円および貸倒引当金の調整額223千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

## (1) 製品およびサービスに関する情報

当第3四半期連結累計期間(自平成24年3月1日至平成24年11月30日)

外部顧客への売上高	金額(千円)	前年同四半期比(%)
化学品事業	15,136,901	109.6
特殊潤滑油	6,842,341	118.3
合成潤滑油	1,297,308	124.7
素材	2,648,445	100.2
ホットメルト接着剤	3,453,466	101.1
その他	895,340	96.9
賃貸ビル事業	42,979	93.1
合計	15,179,880	109.6

## (2) 海外売上高

当第3四半期連結累計期間(自平成24年3月1日至平成24年11月30日)

	アジア	北米	その他の地域	計
I. 海外売上高(千円)	2,888,580	226,662	8,312	3,123,554
II. 連結売上高(千円)				15,179,880
III. 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	19.0	1.5	0.1	20.6

(注) 1. 地域区分は、地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

アジア……………中国、タイ、インドネシア、シンガポール、台湾

北米……………米国

その他……………ベルギー

3. 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。